

令和7年度 事業報告書

資料 7

事業担当部署 スポーツ栄養委員会

報告者 山本和恵

事業区分		公益 1		
事業名称		令和7年度愛知県栄養士会 スポーツ栄養イベント		
事業概要	目的	スポーツ栄養活動を通じ、県民への健康増進・競技力向上などを旨とすると共にスポーツ関連団体および従事者との連携を図り、さらなる活動を普及し振興していく。 幅広いスポーツ関連団体の方へのスポーツ栄養の関心興味を高める内容とし、多くの方に参加し栄養士を身近に感じていただく機会とする。さらに、愛知県で2026年度に開催予定である愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会を見据えたスポーツ栄養イベントとして栄養士を見える化し、県民にたいして栄養士が身近な存在であると感じてもらえうねらいもある。		
	内容	愛・スポーツ栄養セミナー	令和7年8月23日(土)	
		場 所	ウインクあいち小ホール1	
		対象及び参加予定数	小・中・高校生およびその保護者、スポーツ関係者、管理栄養士・栄養士 300名	
		内容のプログラム等	小ホールを2つに分けて行う	
	結果と成果	Ⅰ. 講義の部屋「A.スポーツ×食育 講演」では、スポーツ選手の食事を知るために、スポーツ選手から講演をいただき、最後にスポーツ栄養士と選手のトークセッション Ⅱ. 参加型の部屋「B. 食事相談・スポーツ栄養の学び場」では、参加しやすい環境を作り楽しく学ぶ 「C. 企業展示」スポーツ栄養に関する食品や製品に触れ、栄養の理解を深める。詳細については、別添参照(概案)。		
	参 加 者	75名(栄養士会員28名 一般47名(内、大学生4 高校生1 小学生13名 学年なし1))		
	結 果 概 要 等	テーマ:「見て、聞いて、スポーツして、スポーツ栄養を体験しよう!」		
		【講演会場】講演1:「パラバドミントンと私」講師 中日新聞社 伊藤則子氏、講演2:「サッカーが上手くなるために必要なこと」講師 朝日インテック・ラブリッジ名古屋 上田真子氏、トークセッション:「トップスポーツ選手の勝つための食事法と動き」伊藤則子氏、上田真子氏、スポーツ栄養副委員長小久保友貴氏 【体験会場】「スポーツ栄養クイズ」、「ツイスターゲーム」、「栄養相談および骨密度測定」にて、景品付で実施した。景品は、いわさき食育消しゴム、ゼスプリのハンカチ、スポーツ食育プログラムランチョンマット、食育手揚げ、スポーツドリンクなどである。日栄が協力している一般財団法人日本栄養実践科学戦略機構による「栄養の力でつながるプロジェクト」を活用した。体験中に、伊藤選手から東京2020パラ大会時の銅メダルに触れる機会もあった。参加者からは「スポーツに特化した栄養について知りたかったので参考になった。」、「アスリートの体験話をもっと聞きたい。」、「来年もやってほしい。来て良かった。」など 嬉しいお言葉をいただいた。最後に、ボランティアについて、非会員であった方がお手伝いを希望され会員となった。スタッフ全員が臨機応変に対応できたことが、イベントを成功させたことに繋がった。		

			収入金額	支出金額	残額
当初予算	R7年度予算		266,000	266,000	0
当年度実績	スポーツ栄養イベント		199,737	199,737	0

予算	収入	科目	金額	積算基礎	
		事業収入	80,000	賛助会員(4社@20,000)	
		〃	186,000	本会費	
		参加費	0	参加費無料	
	計		266,000		
	支出	諸謝金	70,000	講師料(2名@35,000:交通費込み)	
		旅費交通費	26,000	ボランティア栄養士交通費(13名@2,000)	
		〃	24,000	スタッフ9名@2,000、下見含む(スタッフ3名@2,000)	
		〃	32,000	スタッフ8名@2,000×2回(栄養士会事務局にて会議実施)	
		事業運営費	46,000	会場費	
		〃	12,000	備品代	
		〃	12,000	お弁当・お茶(24名@500)	
		備品・消耗品	21,000	ポスター・コピー用紙・ラミネート・マジック・養生テープ等	
		〃	8,000	景品、参加賞代	
保険料		5,000	イベント保険加入		
通信運搬費	10,000	車両貸出料等			
計		266,000			
決算	収入	事業収入	40,000	賛助会員(2社@20,000)	
		〃	159,737	本会費	
		参加費	0	参加費無料	
	計		199,737		
	支出	諸謝金	62,240	講師料(@30,000×2名 交通費込み)	
		旅費交通費	16,360	ボランティア栄養士交通費(9名分)	
		〃	12,720	スタッフ交通費(10名分) 下見一日含む(3名分)	
		〃	8,760	栄養士会事務局にて会議実施分交通費(7名分)	
		事業運営費	45,700	会場費	
		〃	16,480	会場施設備品利用料	
		〃	11,848	お弁当代(スタッフ18名@500)、講師弁当代(1名1,080円)、お茶代(21本 1,768円)	
		備品・消耗品	6,779	ラミネートフィルム、クリアファイル、マジック・養生テープ、衛生用品等	
		〃	6,380	景品代	
		保険料	5,000	イベント保険加入	
通信運搬費		3,760	車両貸出料等		
〃	3,380	日栄キウイグッズ送料(着払い)			
〃	330	講師謝金銀行振込手数料(株式会社LOVELEDGE)			
計		199,737			

令和 7 年 10 月 理事会報告			
R7 年度 第 4 回スポーツ栄養委員会			
日 時	9 月 24 日 (水) 20 : 30 ~ 21 : 30	場 所	Zoom (オンライン)
出席者	小久保友貴、上野秀美、野間千里、森田有貴、山本麻希、山本和恵、 <u>藍川智津</u> 部長 報告者：山本和恵		
協議事項 及び 決定事項	1. 報告事項 1) スポーツ栄養イベントの課題および改善案 - 参加者目標 100 名であったが、75 名の参加者であり、参加者からの感想では、「スポーツに特化した栄養について知りたかったので参考になった。」「アスリートの体験話をもっと聞きたい。」「来年もやってほしい。来て良かった。」などの声があった。本イベントは概ね成功したと言える。 - ボランティアスタッフから講義が聞きたかったとの意見があった。今後担当したコーナーでの人員数に余裕があったかどうか検討し、交代で聞きに行くことも考慮する。 - スタッフからは、当日知り得たことが多かったが、臨機応変に行ったことが成功にも繋がった。 - 備品について、時計の持ち込みなど最終確認をする必要があった。担当者間で、何回も確認をして、シミュレーションをしたが、担当者間で気づかないことがあるため、今後全体で確認をする必要がある。 2) メーリングについて - 届いていない委員が多く、今年度は使用しないことになった。来年度から改めて作り直すことにした。 3) 来年度の事業計画 (案) - 基礎講座、実践講座については、下記の 2 案がでた。今後検討していく。 案 1 : 1 日に、基礎・実践を各 1 コマ行って、基礎と実践を結びつける。 案 2 : 基礎・実践を各年度にする。 - セミナーは、毎年行う。案として、2026 年度は 11 月開催がよい。アジア・アジアパラ競技大会の日程を鑑みる。 以上		
理事会での 検討事項	今回はすべて報告事項となります。来年度の事業計画案は、審議して頂くことでもありません。		
今後の 検討事項	来年度の研修会等を検討する。		